

部名	土木部
----	-----

施策評価調書

1 施策の概要

(1)	施策名	総合的な都市整備の推進／都市機能の向上と市街地の整備					
(2)	総合計画の体系	第 6 章	安全で魅力的なまちづくり				
		第 2 節	暮らしや都市活動を支える基盤づくり				
		第 13 細節	総合的な都市整備の推進／都市機能の向上と市街地の整備				
(3)	事業費など (単位:千円)	項目\年度(平成)		26年度決算額	27年度決算見込額	28年度予算額	
		事業費(A)		3,123	0	110	
		従事職員数		2.20 人	0.50 人	0.50 人	
		所要人件費(B)		17,484	4,176	4,085	
		総事業費(A+B)		20,607	4,176	4,195	
		財源内訳	収入	国庫支出金	0	0	0
				府支出金	0	0	0
				その他	0	0	0
			市負担	地方債	0	0	0
				その他	0	0	0
一般財源	20,607			4,176	4,195		

2 評価の指標(施策に係る成果指標)

指標項目		項目\年度(平成)	26年度実績	27年度実績	28年度計画
指標内容 地権者の合意形成に向けた協議会等の立上げを促すとともに、事業計画の策定や事業パートナー選定等に対する支援を実施する。	目標値 (単位:回)		10.00	10.00	10.00
	実績値 (単位:回)		21.00	8.00	
	達成度(%)		210.0	80.0	
目標値の積算方法 会議及び勉強会等の回数(事業者検討パートナーによる開催、アドバイザー派遣含む)。	目標値 (単位:)		0.00	0.00	0.00
	実績値 (単位:)		0.00	0.00	
	達成度(%)		0.0	0.0	

3 施策の点検(施策を進めるうえでの課題)

<p>千里ニュータウンの再生の一環として、桃山台駅から南千里駅を結ぶ沿道において、生活利便施設や地域に必要な機能を配置することで、住民の利便性の向上と来訪者の増加などを図ることにより、これまで以上の活性化やにぎわいのあるまちづくりを目標としている。</p> <p>施策を構成する事務事業のうち「桃山台～南千里駅間の沿道にぎわい活性化事業」では平成26年度実施した調査結果をもとに、沿道の個別事業の実施主体とともに構想に取り組み、目標実施に向けた誘導を行っている。主な事業が構想段階から実施段階を迎える段階において、個別支援等を充実する施策に移行することとし、本事業は廃止する。</p> <p>また、「近隣センター活性化再生支援事業」では竹見台と桃山台の近隣センターの活性化・再生に向けた取組みとして、会議の開催など、地権者等の意識向上や事業化に向けた機運の醸成といった一定の成果を得ており、継続して事業の実施が必要となる。</p>

4 施策の評価

次年度の優先順位	施策を構成する事務事業名	室課名	事業番号	市単独事業区分	施策への貢献度	各視点からの評価 (20 → 4) 高 → 低						今後の方向性 (実施計画)
						妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	合計	
1	近隣センター活性化再生支援事業	地域整備推進室	00697	全部	中	14	18	16	18	20	86	継続
2	桃山台～南千里駅間の沿道にぎわい活性化事業	地域整備推進室	00698	全部	中	20	18	16	20	18	92	廃止
3											0	
4											0	
5											0	
6											0	
7											0	
8											0	
9											0	
10											0	
11											0	
12											0	
13											0	
14											0	
優先順位をつけるにあたっての考え方		地域の活性化、再生を目標とする相関性の高い事業であるため、評価点の高い事業を優先した。 (ただし、総事業費が0のものは下位とした。)										